

議員派遣結果報告書

令和5年第3回定例会において議決された議員派遣について、次のとおり実施したので、その結果を報告いたします。

令和5年12月8日

愛南町議会議長 佐々木 史仁 殿

愛南町議会副議長 鷹野 正志

記

I 視察の経過（議員派遣の概要）

本議員派遣は、令和5年10月13日（金）に四国地区町村議会議長会が開催した第61回四国地区町村議会議長会研修会を受講したものである。

II 第61回四国地区町村議会議長会研修会

日時 10月13日（金）13:00～16:35

場所 JRホテルクレメント徳島（徳島県徳島市）

議員 尾崎恵一、嘉喜山茂、池田栄次、吉田茂生、少林法子、石川秀夫、
金繁典子、鷹野正志、原田達也、佐々木史仁、山下正敏、吉村直城
12名（欠席：中野光博、那須芳人2名）

事務局 本多幸雄局長、小松一恵局長補佐

1 「岸田政権の行方～政局展望～」

講師 共同通信社編集委員兼論説委員 久江 雅彦

衆議院解散の可能性、また解散する場合想定される日程、岸田内閣の基本戦略、派閥表をもとにした自民党の内実、衆参両院の国会勢力図及び野党の現状について、講師の見解を話した。

2 「今から本気で向き合う、体と食事のこと」

講師 料理研究家 浜内 千波

「公」と「個」のバランスを保つためにも、まずは健康でなければならない。そのためには、自分の体の状態をしっかりと見直す必要がある。健康を維持するためには「食に投資することが大切」との観点から、料理研究家の立場で、食事の見直し方等について、特にポリフェノール、不飽和脂肪酸、炭水化物及びたんぱく質の具体的な摂取方法についての解説があった。

研 修 報 告 書

第 61 回四国地区町村議会議長会研修会（令和 5 年度第 2 回町議会議員研修会）について、次のとおり報告します。

1. 研修名（主催者） 第 61 回四国地区町村議会議長会研修会
（四国地区町村議会議長会）
2. 研修視察日時 令和 5 年 10 月 13 日～令和 5 年 10 月 14 日（2 日）
3. 研修視察先 徳島県徳島市（J R ホテルクレメント徳島）
研修①岸田政権の行方～政局展望～
研修②今から本気で向き合う、体と食事のこと
4. 研修目的 地方行政及び議会の制度運営等に関する研修のため
5. 所見・所感

（報告 1）

① 岸田政権の行方-政局展望

政治日程から推測する衆議院解散時期、年内の日程、総裁選との関係、自民党支持層の内閣支持率、解散の要件等からの説明、岸田内閣の誕生と軌跡、派閥の内実、国会勢力のパワーバランス等の説明を受けた。

現在の日本の政治情勢、大手新聞社等の記者の視点など、報道されない情報もあり国政の現状の認識を深められた。

② 今から本気で向き合う、体と食事のこと

健康で過ごすための体と食事について、高齢期の体の変化、要因、食物、料理方法等からわかりやすく説明を受けた。

高齢期の健康管理や高齢期に限らない食の大切さを改めて感じ、有意義な研修であったと思う。

（報告 2）

①岸田政権の行方～政局展望～について

・講師によれば年内の衆院解散、選挙は当面の政局からして極めて可能性はないようですが、いずれにしても近いうちにあるのではないかと感じました。また、本日は政局展望についてという事で、いろんな視点で話を聞く事ができて大変勉強になりました。

②今から本気で向き合う、体と食事のこと

・普段なにげなく食事をとっているが、改めて健康を維持する食事の重要性と

いうものを考える良い時間となりました。

(報告 3)

①の講演は、今の現状の選挙制度と日本の政治の在り方について矛盾があるとの指摘については同感するところが有った。

②の講演は、認知症や長生きするための食事の在り方について楽しく、わかりやすく理解できた。特に質の良い油、ポリフェノール、ビタミンC等を日々の食事に取り入れることは、難しいことではなく、ちょっとした注意があれば取り入れられると思った。

(報告 4)

①地方であれ、国であれ、全ての政治は「権力闘争」。

唯、間違った方向に進むべきではない。政治を観てきた者、政治を経験した者、花々しい表舞台ではなく、要は裏舞台、裏事情をどれだけ深く知っているのか？その経験からの岸田政権の行方。ひとつの参考ではあった。

②体と食。

二年前から始めた自らの食事、そして体の健康。実体験として聴いた。さすがに売れている講師さん。

(報告 5)

①『岸田政権の行方』と題しての講演でしたが、国政も重要なテーマではありますが、もっと現実味のある地方議会の在り方等の講演のほうが良かったと思います。

②体と食事については、健康を維持するためには食事は重要な要素であり、色とりどりの野菜の摂取の重要性を再認識致しました。

(報告 6)

①「岸田政権の行方～政局展望～」について

政治日程から見た当面の政局、政権の基本戦略、岸田内閣の誕生と軌跡、派閥の構成による自民党内実、野党の国会勢力の状況等、豊富な取材経験に基づいた講師の私見とエピソードを伺った。

豊富な取材経験に基づいて多方面から理論的に分析がなされており、今後、我々が、地方行政及び議会の運営に役立てるために、政局を予想するための参考資料の一つになると考える。

②「今から本気で向き合う、体と食事のこと」について

食事と健康との関係について、科学的に理論立てて説明されていた。特に、野菜と体の健康との関係について理論的に数字を示して説明されたが、内容に工夫がなされていて、しつこさがなく、よく理解できた。

絶妙なタイミングでユーモアとエピソードを交えながらの講演であったので、時間のたつのも忘れて、話の内容に引き込まれたと同時に、講演の要点が記憶に残った。

生活するうえでの全てが、体の健康が基本であるので、健康維持の観点から、意義のある講演であった。

町民の方々にも「体と食事について」理解を深めて頂く、この講演のような機会があればと感じた。

(報告 7)

①政局も大変であるが、いろいろと参考になった。

②自分の健康は、自分でしっかりと管理すべきであり、日々の生活から注意していかなければならないと思いました。

(報告 8)

・研修① 地方議員にはあまり考える機会のない、政治の上層部の話であった。党内の派閥や勢力図、現時点での政局の流れが分かった。

・研修② 食事、栄養が体を作る。特に、我々議員の年齢層に合わせた具体的な内容で、会場は大いに沸いた。活力ある政治活動は、健康な体なくしては成り立たない。アドバイスを取り入れ、実践していきたい。

○ この会では、四国の町村議会議員が一堂に会すること自体にも意義がある。他県、或いは他の町村議員と複数で情報交換することができ、非常に有意義であった。

○ なお、2本の研修は、町村議会の運営とは少し距離のある内容であった。次回は、

町村議会に実務的に役立つ研修もお願いしたい。

(報告 9)

「岸田政権の行方～政局展望～」のお話の中で、日本において小選挙区制が妥当なのか、政党政治とはかけ離れた政治の現実について、参考になった。

①②とも個人的には参考になる話ではあったが、町村議会議長会の研修目的「地方行政及び議会の制度運営等に関する研修」としては、目的と内容がかけ離れている。四国のすべての町村議会の全議員が集まれるせっかくの機会であるので、研修目的に合致した内容の研修を今後は期待する。特に町村に共通の課題である過疎化や高齢化にどう対応して活気あるまちづくりをするか、議会改革の先進事例や女性・若者の議員が増えた多様性ある議会の実現についてなど、研修内容として検討いただきたい。

(報告 10)

いつものことであるが、議会研修なのかちょっと疑問。

もっと内容を考えてみては？

(報告 11)

①現政権の基本戦略また岸田内閣、与党、野党の現状等について所感を述べていただいた。特に衆議院の解散、総選挙については、内閣の支持率の動向によっては厳しい判断を迫られるとの指摘があった。また永田町の裏話等もあり興味深い講演となった。

②食生活の重要性について、ユーモアを交えながらの講演だった。食べることは人間が生きていくうえでの基本であり、規則正しい食事は生活の土台となり、それぞれの栄養をバランスよく取ることが健康にとってどれほど重要であるかがわかった。健康寿命を延ばすヒントを得たような気がした。